

「市長とドンドン語ろう！」（西区） 令和元年（2019年）5月9日 西部公民館大ホール 意見交換内容 参加者：120名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) ICT教育や英語教育について 私は、教育においては基礎学力の充実が一番大事だと思っている。多様化やグローバル化が進んでおり、ICT教育や英語教育の必要性についてはわかるが、まだ日本語も十分に習っていない小学生の子どもたちに英語教育とはどういうことか。私はおかしいと思う。 ICT教育については便利な面もあると思うが、教育は人と人とのコミュニケーションが大切である。機械を導入することも大事だが、タブレットを一台持たせて授業するというのは疑問に思う。</p>	<p>〔教育次長〕 例えば、以前は家庭科の授業で、先生が手元で縫い方を示しても、後ろの生徒は見えないという状況があったかもしれないが、それを大型提示装置を使えば、電子黒板上に、先生の指先がどう動いているかが全員に見えるようになる。また、算数の授業では、みんなの答えを一同に電子黒板上に映し出せば、他の生徒の考えを見ることができる。そういう機械の導入の仕方をしている。 基礎・基本が大事ということについては、例えば、タブレットを使うと、試験結果から分析された自分の弱点を確認することができるなど、機械が個に応じて子どもを助けてくれる環境ができる。 タブレット導入後も、先生は、コミュニケーションの面では以前と変わりなく関わっていくので、ただ単にタブレットを与えて、「やっておきなさい」という環境ではない。</p> <p>〔市長〕 私の経験において、英語教育については、単に単語や文法を知っているだけでは十分ではなく、何を伝えるか、その中身とコミュニケーションのスキルが大事だと教わった。 何を伝えるかについては、英語の技術よりも、質が大事だと思う。そこに行きつくためには、まずは早いうちから英語アレルギーにならないよう英語に触れておくのが非常に大事なことです。今回学習指導要領が変わったので、基礎的な学力として、英語についてもアプローチしている。 ICT教育も含めて教育をどうやって進めていくのか、一番効果的な方法について、常に子供たちの様子を見ながら、大学や民間企業と包括的に連携し研究している。子どもたちがより学びを深め、基礎学力を高めるようにするための道具であるをご理解いただきたい。</p> <p>----- 【指導課 追記】 小学校の外国語教育は、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を育むことを目標としている。普段、あえて日本語では尋ね合わないようなことを、授業中英語を用いてコミュニケーションを図ることで、互いの理解を深めることにもつながる。また、外国語の音声や文字、言語の働きなどを学ぶことを通して、日本語と外国語との違いに気付いたり、異文化を学習することを通して、改めて日本の伝統文化を見直したりすることにもつながっている。 タブレットは、例えば、英語でスピーチする練習段階でビデオ撮影し、自分の姿を客観的に見たり、友達の良い点を見合ったりすることで、より良いものに仕上げていくことができる等、主体的な学びにも効果的なツールである。</p>	教育委員会事務局	指導課 教育センター
	<p>(2) 教員の働き方改革について 先生方の事務の仕事が非常に多いと聞いている。それから放課後の部活の指導をどうするのか。先生方だけが指導されるのではなかなか手が回らないので、社会人を入れるとか、地域社会との連携もいいかもしれない。これをどう考えているか。</p>	<p>〔教育次長〕 現在は先生方が土日もなく練習をしているが、先生もある程度休みをとって、元気な姿で子どもたちの前に立ってもらうため、教師の働き方改革を進めているところ。 また、市内の小学校は学校の部活動として存続できるものは存続して、地域の体育協会の皆さん等と情報交換しながら、社会体育でできるものは、地域の皆さんの指導の下にお願いしている。さらに、中学校では、今年度からモデル校に部活動指導員を導入し、学校に派遣して放課後の部活動の指導をしていただいている。以前に比べると、土日もないほど加熱した部活は今後、少しずつ減ってくると思う。</p>	教育委員会事務局	教育政策課 健康教育課
	<p>(3) 育成クラブの在り方について 育成クラブの指導者が不足しているとのことで、人材を募集されているが、今のままでいいのかわからない。指導者がいない中、ただ部室の中で遊ばせている。こういう教育はおかしいのではないか。</p>	<p>〔教育次長〕 一人当たりの活動面積のことは心配している。午後7時や8時まで開設してほしいとの要望もあるが、今のところ、午後6時には家庭にお帰するという体制をとっている。また、不足する支援員は公的にきちんと公募して支援員不足の解消を図るとともに学校の施設等を使いながら児童数に応じた基準に基づいて、支援員を配置し適切な運営に努めているところである。</p>	教育委員会事務局	青少年教育課

「市長とドンドン語ろう！」（西区） 令和元年（2019年）5月9日 西部公民館大ホール 意見交換内容 参加者：120名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(4) 私学助成について 県には私学助成制度があるが、市ではどう考えているか。貧しい子どももいるので、そういうところを考えていただきたい。</p>	<p>〔市長〕 教育の無償化は国の方でもいろいろ進めている。私学助成についてはご承知の方も多いと思うが、県の方が管轄している。その国や県の制度にない部分を市で新しくサポートすることで、市全体として子どもたちが充実した環境で、安心して学びができるようにしたいと考えている。</p> <p>〔教育次長〕 市長から、返還不要の奨学金を設計してほしいとの指示を受けているので、今年度中には制度設計して市民の皆様へ提示する予定である。</p>	教育委員会事務局	学務課
2	<p>■英語を教える教師の英語力について A L T 教師だけでは英語教育はできない。教える側の英語力、スキル、発音の問題をどう考えているか。</p>	<p>〔教育次長〕 A L T の数は、アメリカやカナダなど、英語を言語とする国から64名と、ほぼ倍に増やして各学校へ派遣している。また、英語専科の先生16名が全学校を回って、英語の授業方法について助言している。それ以前にも先生に研修をしており、ほぼネイティブに等しい環境は作られている。小学校では文法や筆記に重きを置かないで、ある程度英語に慣れて、中学校につなぐという形にしている。</p> <p>-----</p> <p>【指導課 追記】 今年度、小学校では、中学校英語免許をもつ英語専科16名（芳野小・河内小はそれぞれの中学校より英語教師が兼務）が全学校を巡回し、サポートする体制を整えている。A L T や専科教員の力を借りながら、外国語を通して子どもたちのコミュニケーション力を育成するために、子どもたちの実態をよく把握している担任の先生ならではの授業に大きな意義があると考えます。 また、先生たちの英語力、授業力の向上のため、平成27年度より国の中央研修を受けた教員を講師とする年間14時間の英語教育推進研修会を実施し、英語による授業の意識付けや授業改善に取り組みながら、学習指導要領が目指す教員の英語力・指導力の向上に努めており、平成30年度に中学英語教員全員がこの研修を終了している。小学校は、今年度60人を対象に継続実施する。</p>	教育委員会事務局	指導課

「市長とドンドン語ろう！」（西区） 令和元年（2019年）5月9日 西部公民館大ホール 意見交換内容 参加者：120名

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>(1) 教師の事務作業について 先生の事務作業が多いと思う。給食費などのお金を数えたり、そういったことで時間が取られている。また、毎日紙での連絡が多いので、それをメールなどでペーパーレス化することで事務作業時間を減らすことはできないか。</p>	<p>〔教育次長〕 事務作業の軽減については、全ての学校に校務支援システムを導入し、事務作業を一本化している。例えば出席簿で欠席と入力すれば、通知表の出席日数などすべてに連動して反映できるなど、先生の事務作業が軽減化できるシステムを導入している。 現在は学校の教科書以外のテキスト、ノートなども学級会計として集めているが、給食費も全部まとめて、来年度から学校の先生が現金を扱わないシステムを計画している。</p> <p>〔市長〕 今まで給食費に関しては学校の先生が給食費納入袋で集めていたが、これを公会計化することで、クレジットカード等で支払いができるようにする。そのような、先生が集金事務を行わない仕組みに変えていく。</p>	教育委員会事務局	教育政策課 健康教育課
	<p>(2) 学級担任制と教科担任制について 学級担任制と教科担任制が変わるとのことであるが、具体的にどう変わるのか教えてほしい。</p>	<p>〔教育次長〕 これまで小学校は、音楽以外はすべて学級担任制で、どの教科も同じ先生が教えていた。これが教科担任制では、例えば6年1組の担任が理科の担当である場合、2組が理科の授業のときはその先生が2組で理科を教え、1組は他の教師が国語を教えるなど。そうした教科担任制を小学校、特に5、6年生に積極的に導入していく。いくつかの小学校で先行導入されており、それを積極的に進めていくということで学校と連携している。</p>	教育委員会事務局	指導課
4	<p>■教育におけるICT化と開かれた学校づくりについて 私は熊本市の私学で働いている。本校でもICT化を進めているが、費用対効果をどう考えているか。特に教育評価を「測る」ということについて、どう考えているか。 また、学習ログを取っていくなかで、そのログ自体が財産になると思うが、どう管理していくのか。あるいは国と連携したり、本校ともぜひ共有したりして、熊本市全体の教育効果をあげていきたいと思う。 最後に要望だが、ぜひ学校を開かれたものにしてほしい。昨年、本校で生徒会の役員改選があった際には、市より選挙箱等を貸していただいた。そういった形で熊本市の学校が開かれた形で教育の機会を与えていただけないかと思う。</p>	<p>〔市長〕 費用対効果については、環境を一気に整えることにより、できるだけ長く生徒たちが恩恵を受けるようにすることで、ICT機器導入の効果が出せるように計算している。問題は通信などのランニングコストがかかる点であるが、トータルで費用を抑える契約をしている。教育の面での効果は学力の向上であり、子どもたちの学力・知識・思考力の向上を測る必要があり、そういったものには積極的に投資をしていく。 熊本市の子ども達は公教育だろうが、私学だろうが、いい環境で同じようにすくすく育ててもらいたいと思っている。例えば私学との交流について、こういう教え方がいいとか、情報の共有化・交換は積極的にやっていった方が良く思う。そういう意味での、開かれた学校を作っていきたい。私学側からも、公立の方に、こういうことを一緒にやらないか、ということぜひ呼び掛けてほしい。 学習ログ（記録）については、非常に価値のある財産であり、子どもたちが興味をもった内容などが全部データで出てくる。そういった記録を分析すると、どういう傾向があるかなどが分かる。</p> <p>〔教育次長〕 私学との交流については、8月に公立の中学校と私立の中学校から生徒会の役員を集め、子ども議会を開催するなど、交流の機会を作っている。</p>	教育委員会事務局	教育センター 教育政策課

「市長とドンドン語ろう！」（西区） 令和元年（2019年）5月9日 西部公民館大ホール 意見交換内容 参加者：120名

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>■くまもと元気クラブの補助制度と健康ポイントについて</p> <p>町内の元気クラブに対する市からの半額補助が一年後にしか出ない。傷害保険に入ったりすると、結構お金がかかり、負担となっている。できれば4半期に一回ずつとか、長くても半年に一回くらい補助金が出るような仕組みでやってもらえないかお願いしたい。</p> <p>また、元気クラブにも健康ポイントを導入していただきたいが、元気クラブ加入者は高齢者が多く、スマートフォンを持っていない人がほとんどである。そういう人たちも健康ポイントを使うことができるのか。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>元気クラブへの補助制度については検討させてほしい。</p> <p>健康ポイントについては、スマートフォンを持っていない方にも何かポイントが付くような仕組みを考えたい。</p> <p>こうしてほしいという要望などがあれば聞かせてほしい。</p> <p>-----</p> <p>【高齢福祉課・西区福祉課 追記】</p> <p>住民主体の介護予防活動に対する支援制度「くまもと元気クラブ」の補助金の支払いについて、活動の終了前や年度途中で支払うことが適切と認めるときは、一括または分割して事前に補助対象経費の概算額を支払うことができる。発言された方へは、西区福祉課にて説明を行ったところ、概算払いでの申請書の提出があったため、支払う予定となっている。</p>	健康福祉局 西区役所	高齢福祉課 健康づくり推進課 福祉課
6	<p>■健康管理について</p> <p>健康でもなんでも「過ぎない」ということが大事。働くのも、仕事も、すべて「適当に」することが大事。それが健康の元である。自分の身体は自分で診察しなければならない。医者に診てもらう前に自分で「飲み過ぎ」「働き過ぎ」ではないか考えないといけないと思っている。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>自分で管理したり健康に気を付けることは大事。健康であれば若い人にいろんなことを教えることもできるし、いろんなことができる。健康ポイント事業は、普段あまり健康のことを考えなかった人たちが考えるようになるきっかけとしたい。そこから、がん検診の受診率の向上といった、病気の予防につなげていきたい。</p> <p>皆さんが健康づくりに前向きになれるような健康ポイント制度にしたい。</p>	健康福祉局	健康づくり推進課
7	<p>■利便性のある公共交通機関について</p> <p>私は沖新地区に住んでいるが、今回バスが廃止になる。廃止の後に乗合タクシーがあるそうだが、料金が一回200円となっている。その200円にさくらカードが使えないか。一回200円だが、往復だと400円となり、これまでよりも高くなる。私たちは自営業や農家が多く、厚生年金がなく老齢年金のみの方も多数いる。そういう方にとって、一回400円は高過ぎるので、ぜひさくらカードを使えるよう検討してほしい。</p> <p>また、どうしたら公共交通を利用したいかということだが、利便性が悪いから乗る人がいなくなる。特に沖新路線のバスは朝は7時、帰りは交通センターで17時か18時くらいまでしかないため乗りたくても乗れない。サラリーマンはまず乗れないし、学生も部活をしていたらまず乗れない。数は少なくともいいが、せめて1時間に1本、夜の20時か21時くらいまでは走っていないとどうしようもない。利便性を良くしていただき、使える公共交通機関にしてほしい。</p>	<p>〔都市建設局総括審議員〕</p> <p>中島校区は、産交バスが10月から廃止となると伺っている。市としてもバス路線はぜひ維持してほしいと常々思い、事業者とはずっと話をしているところ。事業者にも頑張ってもらっているが、運転手不足が厳しい状況である。今回中島校区のバス廃止に伴い、予約制の乗合タクシーを検討している。ご負担いただく運賃は200円で、残りは市が負担するということであるが、できるだけ利用していただくのが重要なので、引き続き議論していきたい。</p> <p>バス路線は8割が赤字であり、朝や夜の便数が減っている状況に、何とか歯止めを掛けたいと思っている。今は5社で路線を運行しており、一部重なっている路線があるため、効率化できるのではないかと考えている。これまでそういう観点はなかったが、バス会社5者に市と県も加わり、バス路線も含めた在り方を考えていこうと検討会の場をつくった。そのなかで、市民にとってわかりやすく持続可能なバス交通の実現に向けて努力している。</p> <p>〔市長〕</p> <p>さくらカードはもともと高齢者におでかけをしてもらうために始めた制度であるが、実際は利用が少ないということで、昨年からはどうしたら乗っていただけるようになるか、使いやすいものになるのか、料金の面も含めて検討している。特に所得が少ない方への配慮ができないかなど、いろんな制度設計を考えていく。乗合タクシーの話も含め、今後いろいろ検討していきたい。</p>	都市建設局 健康福祉局	交通政策課 健康福祉政策課

「市長とドンドン語ろう！」（西区） 令和元年（2019年）5月9日 西部公民館大ホール 意見交換内容 参加者：120名

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>■五反バス停及び旧春日寺バス停の復元について</p> <p>熊本市の公共事業により、五反バス停、旧春日寺バス停前が廃止されて、地域生活圏、生活拠点である花岡山の中腹から裾野にかけて公共交通不便地域にさせられた。即両バス停の復元を実現していただきたい。</p> <p>また、2月中旬と3月初め、教習車バスが何回となく春日交差点方面から高麗門通りへ走行していた。教習車走行ルート記録を確認していただきたい。</p>	<p>〔市長〕</p> <p>今、バス網の再編も含めて検討している。今お話があったような教習バスが走っている状況と路線バスが走る状況は時間帯や交通の状況も違うので、必ずしも同じとは言えないが、そういうことも含めて検討し、回答させていただく。そういったバス停が実際どうなのか、現場をきちんと確認させていただきたい。もちろん、これから駅前広場も数年かけて整備していくので、そういうことも併せて検討させていただきたい。</p> <p>-----</p> <p>【熊本駅周辺整備事務所 追記】</p> <p>バス事業者を確認したところ、教習車は、熊本駅新幹線口（西口）方面から春日3丁目付近を通過し、再び熊本駅新幹線口（西口）方面へ戻るルートで通行しているとのことであった。</p> <p>旧バスルートの復元については、新たな用地確保が必要であり、用地の確保には新幹線の橋脚やマンションが支障し、道路構造上、安全性が確保できないなどの課題により困難であることをご理解いただきたい。</p>	都市建設局	熊本駅周辺整備事務所
9	<p>■誰もが利用しやすいバス路線について</p> <p>熊本市民全員が利用しやすいバス路線を一から構想できないか。収益が上がる路線ばかり走らせ、収益が上がらない路線はカットしていい、その理屈はどこにあるのか。税金はみんなから平等にとっているのだから、恩恵もみんなに与えるべき。小手先の変更ではなく、熊本市民全員が乗れるバス体制をお願いしたい。</p>	<p>〔都市建設局総括審議員〕</p> <p>市としても、収益が上がらない路線はカットしていいとは思っていない。熊本市民が公共交通を利用しやすい体系にしたいと思っている。バスは事業者が営業しているが、赤字部分は大部分を熊本市が補填しており、事業者にとっては収益という意味では赤字でない。運転手不足が原因で廃止となる路線もあるが、市としてもできるだけ維持したいと思っている。交通空白地域が生まれないように、バス頼りでなく、乗合予約型タクシー等により、皆さんに公共交通が行き渡るような施策としたい。</p> <p>〔市長〕</p> <p>路線を維持し、より利便性を良くするため、バス会社がそれぞれの利害を超えて協力し、公共が下支えする体制にしたい。ヨーロッパでは運輸連合が結成されているが、いろんなことを検討しながら、熊本74万市民が、これで安心と思えるくらいの公共交通の状況を作っていきたい。かなりハードルは高いが、検討を急がないと、皆さんが交通で困ることになる。</p> <p>皆さんが元気で暮らしていく、先々の心配をしないためには交通は非常に重要。そういった面でこれからも力を入れていきたい。</p>	都市建設局	交通政策課